

保・幼・小・中の連携

校長 狩野 裕之

『幼稚園・保育施設等から小学校、小学校から中学校への進学に伴う子どもたちの不安の解消を図り、確実に「生きる力」を育てていきます。そのために、幼稚園・保育施設等と小学校の連携を進め、義務教育への円滑な接続を図るとともに、小学校と中学校の教育連携を強化し、幼児期から小・中学校への発達や学びの連続性を踏まえた教育を展開します。』

これは、中野区教育ビジョンの教育理念の一つである『幼児期からの連続した教育』の説明です。

この理念に則った取組の一つとして、今年度第1回の小中連携教育協議会が、先日、谷戸小学校で開かれました。小中連携教育協議会は、中学校の学区ごとに小中学校の教員で構成します。本校の教員は、桃園第二小学校、谷戸小学校、白桜小学校、中野東中学校の先生方と集まりました。今回は、谷戸小学校の授業を参観し、教員がいくつかの分科会に分かれて、小学校と中学校の連携について話し合いました。

本校では、これまで中野東中学校とは、お互いの学校で授業をしたり、塔山まつりにボランティアとして中学生に参加してもらったり、本校の金管バンドの練習を中学の吹奏楽部の生徒に手伝ってもらったりする交流がありました。また、今年から実際の場合を想定し、引き渡し訓練を同じ日に開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、本校は、全校での実施ができませんでしたが、今後とも同じ日に開催できるように設定していきます。また中野区立ひがしなかの幼稚園や近隣の保育園とは、1年生と5年生が、5歳児と交流をしていました。

この小中連携教育協議会に先立ち、中野東中学校、谷戸小学校の校長、ひがしなかの幼稚園の園長と、幼・小・中の連携について話し合いました。現在は、直接の交流は難しい状況ではありますが、再開できるときに備えて、今後とも小中連携教育協議会や様々な機会をとらえて、保・幼・小・中連携、交流の計画を進めていきたいと考えております。中学校や幼稚園、保育園とどのような交流が展開されていくのか、今から楽しみです。特に中野東中学校は、今年の9月に新校舎に移転します。山手通り沿いに本校から南にすぐの所です。新しい交流、取組が期待できそうです。

なお、小中連携教育協議会は年間に2回計画しています。次回は、12月に中野東中学校で開催予定です。

さて、明日は運動会が予定されています。体育館が改修工事のために使えず、校庭も狭くなり、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために様々な制約がある中で、子どもたちと教職員が力を合わせて準備や練習をしてきました。地域の皆様に御覧いただけないのは本当に残念です。また、保護者の皆様にも、全てを御覧に入れることがかなわず残念ですが、子どもたちの頑張りに温かい拍手をお送りいただきますようお願い申し上げます。

6月の目標

生活目標	身の回りを清潔にしよう
保健目標	自分の体を知ろう・歯を大切にしよう
給食目標	衛生に気を付けて食事をしよう
美化目標	傘立ての整理整頓をしよう
<p>梅雨入りが近付いてきました。そこで、6月は、清潔を心がけて、病気を予防するようにしていきます。</p> <p>今月で定期健康診断が終わります。御家庭でも、健康診断の結果をお子さんと一緒に見ていただき、治療が必要な場合は、早めに医療機関にかかってください。治療が済んでいないとプールに入れない場合があります。プール開きの前までに治療の必要な病気を治しておくようお願いいたします。また、学校では「身の回りを清潔にする」「自分の体や健康について知る」ことも、併せて指導していきます。机の中の整理整頓の仕方、大勢で使う物の使い方を身に付けられるように丁寧に指導します。</p>	

6月の行事予定



日	曜日	行事	カ	心
1	火	運動会予備日②		○
2	水	尿検査2次		
3	木	歯科検診(全)	○	
4	金	移動教室説明会(6年) 尿検査2次(追加)		
5	土			
6	日			
7	月	体力テスト 始 委員会③ 視力検査(1年)		
8	火			○
9	水			
10	木	交通安全教室(3年)		
11	金	オープンキャンパス①(6年) 教育実習 終		○
12	土	土曜授業日		
13	日			
14	月	クラブ④		
15	火			○
16	水			
17	木	避難訓練	○	
18	金	体力テスト 終 研究授業①(2年3組以外は4 時間授業)		○
19	土			
20	日			
21	月	読書旬間 始 クラブ⑤		
22	火	音楽鑑賞教室(5年)		
23	水	社会科見学(3年)		
24	木		○	
25	金			○
26	土			
27	日			
28	月			
29	火	移動教室事前検診(6年)		○
30	水	日光移動教室 始(6年)		

特別支援教室 きらりルームとは？

自分の得意なことと苦手なこととの差が大きい、自分の過敏さや苦手なことに気付いていない等の理由により、集団生活や特定の学習・活動につらさや困難さを感じている子どものための教室です。

この教室での取組で、子どもたち自身が自分の特性や能力を知り、各学級、各学年で自信をもって自分の良さを発揮できるように、きらりルームで指導・支援をしています。

低学年との連携

きらりルームの教員(巡回指導教員)は、区内5校を巡回して指導に当たっています。その経験を生かして、塔山小では主に低学年担任との連携に力を入れています。学校生活のスタートがスムーズにできると、学校が楽しくなり、学習のつまずきも少なくすることができます。

①入学式からの3日間の環境調整

学級担任と相談して、分かりやすい環境を整えます(写真で手順を示す、タイムタイマーで時間を見える化する等)。

②読みのつまずきを早期発見・早期支援

1年生の6月、11月、2月に、ひらがな読みチェックを個別に実施して、指導をさらに工夫します。

③「めざせ！読み名人」の取組

2年生の終わりまでに、つまずきやすい特殊音節の読みを全員がクリアできるように取り組みます。得意な子は、さらに流暢な読みを目指します。

他の学年にも授業を見に行き、学級担任と連携しています。

中野区教育委員会

「iPad 児童用使い方ハンドブック」
右記QRコードよりご覧ください。

